

石州 キウリグサ 日州

ボウヅバナ 大和

ノコギリグサ 近江

テンピサウ 紀州 花色赤キ
故名ク、和方書

ニ天皮草ト云ハ 一名無名印録 耕

玉札詳 芳

豚榆係石 藥

苳菜郷 藥

増 一名藉除博 雅

ワレモカウニ同名多シ、麝草、蒼朮、カルカヤニ似タル草、皆ワレモカウノ名アリ、

諸州皆アリ、山野向陽ノ地ニ生ズ、一窠數十葉叢生ス、形紫藤葉ニ似テ大ニシテ鋸齒アリ、榆葉ノ

如シ、夏月叢葉中ヨリ數葶ヲ出ス、高サ四五尺葉互生ス、葉間ゴトニ枝又ヲ分ツコト長シ、ソノ端

ニ細花簇マリ、椀ヲナス、長サ六七分濶サ三四分、形筆頭菜ノ如シ、又重層シテ生ズルモノアリ、赤

紫色ノモノ多シ、又紅色ナルモノ粉紅色ナルモノ白色ナルモノアリ、白色ナルモノ粉紅色ナルモノ

ノモ穂長ク、葉モ細長ク、苗高サ六七尺ニ過グ、白花ハ筑前ニ多シ、粉紅花ハ江州湖邊ニ多アリ、此

外數品アリ、此根ヲ採リ日乾シ槌キ碎キ艾絨ノ如クシ、蓋器ニ灸シテ孔ヲ穿ツベシ、舶來ノ者ハ

直根ナリ、和産多クハ横生シテ硬シ、下品ナリ、國ニヨリ直根ナルモアリ、粉紅花白花ノ者ハ直根

ナリ、享保年中ニ渡リシ唐種ハ、根柔直ニシテ防風根ノ如シ、上品ナリ、

〔草木育種後編下品〕地榆和 本

和蘭にてピンビ子といふ、山の赤土に植てよし、糞を澆ぎて勢にし

花に白と紅と種々あり、和蘭にて根を尿管纖維の弛弱に用ふ、種類多し、

〔剪花翁傳四〕仙蓼わらもつた

花煤竹茶色開花八月中旬より十月上旬まであり、方日向地二分濕土

肥えらばず、分株春彼岸よし、形ちはりの木のごとく、高さ三尺にもおよぶなり、

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

山城國卅二種、○中 地榆、黃耆各十斤、大和國卅八種、○中 地榆十六斤、○下

〔武江產物志藥草〕

志村邊ノ産 白花地榆 鼠山ノ産 地榆道 灌ニモ

〔倭訓栞前編十一〕

玄もつけ○中 草下つ。毛あり、綉麻也といへり、花に紅白あり、

〔大和本草七〕草下毛シモツケ

木ニモ下ッ毛アリ、花ハ相似タリ、初夏發細紅花、一朶群開如敗醬、

草下毛